

育成センターだより

5月 第2号
那賀町青少年健全育成センター
2019年5月9日発行

♪ 屋根より高いこいのぼりー

10連休が終わり、7日から学校、仕事が始まっていきますが、憂鬱(ゆううつ)だという人もいるでしょう。連休明けはあまりがんばりすぎないことが大切だそうです。仕事のペースを少しずつ取り戻していきましょう。元号も令和に変わり、新たな気持ちで連休明けをスタートしたいものです。



5月に入り、新緑が映え、過ごしやすい季節を迎えています。町内をパトロールしていると、いろいろな地域で鯉のぼりを目にします。最近、この鯉のぼりの泳ぐ風景もだんだんと減ってきたように感じます。5月5日の「端午の節句」は子どもたちの健やかな成長を願って五月人形を飾り、鯉のぼりを立て祝います。

子どもたちが、いろいろなことを経験し、立派に成長していく。このことは当然の流れだと思いますが、現実はそうではありません。危機管理が進み、生活環境が整備され、比較的安全と言われている日本社会においても、交通事故や水難事故、あるいは犯罪等において、毎日のように多くの子どもたちの生命が脅かされたり、奪われたりしています。自然災害や不治の病等、子どもたちを完全に守ることができない事柄もありますが、私たち大人が事件や事故の防止対策に万全に取り組むことにより、その被害を最小限に食い止めることは可能だと思います。

子どもは何物にも代え難い宝です。子どもたちが元気に活動し、健やかに成長していく姿は、地域の私たちに元気を与えてくれるだけでなく、地域の活性化にも繋がっています。

晩春の青空にたなびく鯉のぼりを眺めながら、子どもたちの健やかな成長を願いつつ、街頭パトロールの大切さを感じています。

子どもの安全を守るために「さっきみた」

必要以上の接触を感じたら「いかのおすし」発動ですが、その判断基準に「さっきみた」どう

知っている人も知らない人も怪しいかどうか判断する標語

「さっきみた」

覚えやすいでしょ？内容は↓のコマ

- 「さ」… 触ろうとする
- 「つ」… どこへ連れていこうとする(家まで送るもこのコマ)
- 「き」… 聞いてくる(個人情報)
- 「み」… 見せてくる(見たくないもの)
- 「た」… 食べ物を与える

危険△
いかのおすしで対応
貰っても食べないで対応

でしょうか？

「さ」 触ろうとする、はチカンはもちろん、連れ去ろうと手を伸ばしてくる、近づいてくる。

「つ」 ついてくる。連れて行こうとする。

「き」 聞いてくる、は名前や住所を聞き出そうとする。

「み」 見せてくる、は露出狂はじめ、子どもが興味のあるものをチラつかせ連れ去ろうとする。

「た」 食べ物を与える。もらってもすぐ食べないでおうちの人に知らせる。

“不審者”ってどんな風に教える？



4月以降、県下の各青少年補導センターから不審者情報が毎日のように入ってきます。本センター内においては、「児童・生徒が、身体に触られた、声をかけられた」等の直接的な被害の情報は入っていません。しかし、いつ不審者に出会い、不安な思いをするかも知れません。不審者に対しては十分に注意し、被害に遭わないよう最善の対応策がとれるよう日ごろから心がけておきましょう。



『学校で「いかのおすし」という標語を使って、知らない人に声をかけられたときの対策を教えてくださいましたが... 「挨拶は知らない人でもして



いいんだよ」と言いましたが、子どもにはその加減が難しいようです。普段から顔を知っていたら安心というわけでもないので、挨拶だって警戒してしまうのも無理もない世の中。基本は地域の方と気持ちよく挨拶や交流を図りたいところですが、子どもが親の目を離れたときは警戒しすぎるくらいでいいのかもしれませんが。ただ、親としては複雑...』

出典：Upload By じゃがころ

不審者を見かけたときは

不審者を見かけた時は、速やかに在籍の学校や最寄りの派出所や警察署・当センター等にこー報ください。また、ご家庭で子どもからの情報があれば、すぐ通報していただければ、早期の解決に結びつくと思います。宜しくお願いします。

相談ホットライン ☎090-3184-3646